

アートと健康



2024ねん
1がつ
27にち(土)

参加費
無料

A棟5階ユーマア科学スタジオ
@ 関西大学堺キャンパス

13:00 ▶ 17:30

申込方法

こちらのQRコードよりお申し込みください。



申込締切

2024年1月19日(金)

お問合せ先

関西大学 堺キャンパス事務室 地域連携担当
〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1-11-1
TEL:072-229-5024
(お電話でのお申し込みは受け付けておりません。)



ご記入いただいた個人情報は、関西大学個人情報保護規程に則り適切に管理いたします。本イベントのご参加登録および次年度の開催案内にのみ利用し、これ以外には使用いたしません。

講座内容

映画「アートなんかいいらない!」Session1、Session2を同時上映します!

さらに「アートと健康」をテーマに、監督の山岡信貴氏と関西大学文学部所属の哲学者三村尚彦氏と人間健康学部所属で映画にも出演している小室弘毅氏の鼎談を行います!

「アートなんかいいらない!」は、コロナ禍における不要不急論の嵐の中でアートは本当に不要不急なのかを問い、人間が(健康に)生きる上でのアートの意味と意義を探求した作品です。人が生きること/死ぬこと、さらには人が心身ともに健康に生きることとアートとがどのような関係にあるのかについて、映画監督(山岡氏)、哲学者(三村氏)、教育学者(小室氏)の3名で考えていきます。



講師紹介

山岡信貴



映像作家。大学卒業後、映像技術サービスを手がけるMAGICAでカメラマンやゲームプログラミングなどの業務を担当。並行して自らの映画制作にも取り組み、国内外の映画祭で招待上映や受賞を重ねる。独立後は映像制作を軸としながら、実験映画やドキュメンタリー映画を制作。現在はプロデューサーから監督、編集、撮影まで、映像に関わる幅広い業務に携わる。作品に「死なない子供、荒川修作」「縄文にハマる人々」「トゥレップ〜『海獣の子供』を探して〜」「アートなんかいいらない!Session1 情性の王国」「アートなんかいいらない!Session2 46億年の孤独」等。

三村尚彦



関西大学文学部教授。専門は現代哲学、現象学。最近の研究テーマは、言葉にうまくできないけれど身体で漠然と感じている感覚がもつ創造性および現代美術家荒川修作+マドリン・ギンズの「建築する身体」という概念。雑談好きで、大学の講義では果てしなく話が拡散していく。

小室弘毅



関西大学人間健康学部准教授。教育学、身体論が専門。近代日本における人格形成としての「教養」概念の研究から、教育における身体性の問題に関心をもち、「胸に落ちる」学びについて研究。近年は人文学的見地からマインドフルネスの研究と実践を行い、NHK総合「あいつ、マインドフルネスはじめるってよ」(2023年3月31日放送)の製作に協力、出演。現代芸術家荒川修作の研究プロジェクトにも参加し、身体と建築・アート・ファッションというテーマでも研究を行っている。山岡信貴監督作品「アートなんかいいらない!」に出演。